



美しヶ丘

発行者 美しヶ丘
自治会文化広報部

今年の夏まつりは
8月26日(土)
開催予定です。

王寺町総合防災訓練

3月18日午前9時、直下型の大地震が発生したという想定で、明神山地区(美しヶ丘、スカイヒルズ)を対象地域として総合防災訓練が実施されました。

午前9時防災無線・エリアメールで訓練開始の合図とともに、昨年11月に策定されました「災害時行動マニュアル」に沿って各自治会の一時避難場所である公園に一旦避難し、防災委員の指示の下、指定避難所の王寺南義務教育学校太子学舎へ移動しました。今回の防災訓練では、「避難行動要支援者名簿」に基づいた要支援者の避難訓練も、参加者の協力で行われました。

午前10時、あいにくの雨冷えの天候の中、全員太子学舎に集まり、主催者代表の平井町長が、「明神山地区を防災モデルとして各地区の取り組みに供していく」と話され、続いて参加者を代表して、美しヶ丘自主防災会会長の沖様が、「コロナ明けの本年、より積極的に防災活動に取り組む」と挨拶されました。

太子学舎での訓練・体験・展示では、

西和警察署、西和消防署、消防団の協力で
◆応急処置体験
◆煙体験、車両展示
等が実施され多くの参加者がありました。
普段は学ぶことができない防災専門家の方から知識を得る貴重な体験となりました。



避難所開設訓練では、

・王寺町防災士ネットワークによるHUG(避難所運営ゲーム)の研修が開催されました。



防災お花見会三年振りの開催

新型コロナウイルス禍のため昨年まで開催中止となっていた『防災お花見会』が、4月2日(日)11時から13時に鳥居公園で3年振りに美しヶ丘自主防災会の主催で開催されました。

当日は快晴で暖かく、時折やや強く吹く風に舞い散る桜吹雪の中、諸々のイベントが行われ、約250人が参加し盛況でした。

会場の一角には、紅白縦縞の提灯が設置され、参加者は各自好きな場所に陣取り、満開の桜を楽しんでおられました。



受付は10時30分から始まり、支部毎に決められた色の粘着テープに記名して腕に貼り付ける。

☆各支部の識別色は、

◆太子一丁目：白

◆太子三丁目：赤

◆明神一丁目：青

◆明神二丁目：緑

◆明神三丁目：ピンク

◆明神四丁目：黄

今後の防災会活動時にも用いられるので、自分の所属する支部の色を覚えるようにして欲しいとの事でした。

☆非常用器具の展示

- ・グラスファイバー両口ハンマー(0.5kg)
- ・鋸(300mm)・ボール(900mm)
- ・ツルハシ・アルミボルトクリッパー
- ・スコップ・レスキューアックス(消防斧)
- ・テコボールとかませ木(高強度)、
- ・掛矢(槌)・パンタグラフジャッキ(1t)
- ・チェーンソー
- ・ガソリンエンジン発電機(ヤマハ製)
- ・ガソリンエンジン発電機(ホンダ製)
- ・ガソリン携行缶 2缶
- ・アルミ製折畳み式リヤカー 2台



今後も防災器具の充実をめるとの事でした。

☆小型消火器使用体験

小型消火器ボンベに注入された水を数メートル先の的に向かって放水することで、消火器の使い方を疑似体験しました。

☆かまどベンチが活躍

開会宣言の後、かまどベンチに火入れが行われ、アルミ寸胴鍋でお湯を沸かし始めました。お湯が沸くまでの間を利用して、非常用諸器具の説明と体験会が行われました。



☆非常食カレーライス体験

配られたアルファ米（100食限定）にお湯を注ぎ少し掻き混ぜると、15分後にはご御飯が出来上がり。更に湯せんされたレトルトカレーをかけて貰い、おいしくいただきました。



☆その他

「ホッとさろん 美しヶ丘」の協力による無料コーヒーコーナーや、セルフサービスで無料のお茶もあり、熱中症対策に万全を期していました。更に、缶ビール（小）が格安有料で提供され、酒好きには嬉しい企画。

午後1時前には完売でした。

閉会直前には、お楽しみ抽選会があり、おみやげを持って帰る人もいました。

ウォーキングのすすめ



ウォーキングに一番気持ちの良い季節がやってきました。私たちにとってその住環境に感謝出来る季節です。是非、健康維持にダイエットに、また気分転換にわが町美しヶ丘の素晴らしい環境を満喫しましょう！

明神山を歩こう

新聞報道によれば、週に1日だけでも8000歩以上歩くことで、死亡リスクを下げられるということです。

登山のイメージとは異なり、明神山の急坂は2ヶ所のみ。散歩道と言う方が適しているかもしれません。山頂の展望に、四季の花々、鳥の鳴き声。近郊からも多くの人々が訪れています。又、今春山頂の駐車場のまわりに桜の若木とツツジが植樹されました。来春にはここでもお花見ができそうです。

山道を歩いて気づくのは、山道にゴミがありません。聞けば美しヶ丘のボランティアの皆さんが清掃活動して頂いているのとです。

町の資料によれば昨年の登山者は延人数で7万人強。コロナ明けの今年にもっと多くの人の訪れを期待しています。「病気の9割は歩くだけで治る」という本も出版されています。皆さん明神山を歩きませんか？

令和4年4月時間別延登山者数

時刻	人数	時刻	人数
0	0	12	421
1	0	13	347
2	0	14	512
3	59	15	285
4	218	16	199
5	375	17	143
6	395	18	40
7	370	19	3
8	677	20	5
9	731	21	5
10	653	22	1
11	619	23	2

町建設課調べ

計 6060 人

↓桜の若木とツツジの植樹



↑清掃活動



ファミリーウォーク開催

3月25日町主催のファミリーウォークが4年ぶりに開催されました。30家族1歳の赤ちゃんを含めた約100名が参加しました。雨上がりの少し肌寒い日でしたが、鳥居公園の桜もほぼ満開、約1時間で全員山頂へ。子ども達は宝探しゲームや、VRゴーグル体験で大はしゃぎ。あいにく雲が多い天候で、デッキからの眺望は望めませんでした。ふるまわれた「オリーブ」が香る「ラメン」をいただき、集合写真のあと記念品を受け取り、13時前に解散下山しました。

まち歩きをしよう

明神山、畠田公園と散歩やウォーキングにとって、私たちは本当に恵まれた環境にいます。時には、馬見丘陵公園まで足を伸ばし、色々な花々をみながら、ウォーキングに励まれている方も多いことでしょう。

花や自然を楽しむのも快いですが、たまには、王寺町の文化財を楽しむ「街歩き」は如何でしょうか？達磨寺や畠田古墳等は知っているけど、他にどんな所があるんだろうと思った方は、是非、王寺町の学芸員岡島氏の「思いつくまま、歴史の旅」というまち歩きのガイドブックを参考にしてください。昨年末に発売されていますので、既に多くの方が読まれていると思います。が、まだの方は、是非手に取って下さい。

達磨寺に始まり、鉄道、聖徳太子、明神山、大和川、信仰、王寺と7つのグループに分けてとおきの100の話が分かりやすく紹介されています。達磨寺や畠田古墳以外にもこんなに歴史文化があったのだと実感されることと思います。

皆さんのパートナーとして、この本を片手にまち歩きをすれば、きっといつものウォーキングがひと味違った歴史散歩になることでしょう。



「思いつくまま、歴史の旅」
王寺まち歩き 100話
王寺町文化財学芸員
岡島 永昌

自治会報がカラーに！

今回の会報は如何だったでしょうか？ご承知の通り、前号の183号よりカラーになり、読みやすくなった写真が綺麗になった等、好評を頂いています。一方で、費用面での心配の声も時々聞かれます。でもご安心下さい。費用面で大きな差はなく、カラー化と共に事務作業の効率化等にも貢献しています。カラー写真なども積極的に活用しながら、より魅力的な紙面作りに努めていきます。